

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【公開番号】特開2002-167534(P2002-167534A)

【公開日】平成14年6月11日(2002.6.11)

【出願番号】特願2000-366057(P2000-366057)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)
B 4 1 M 5/00 (2006.01)
B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00
B 4 1 M 5/00 E
B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月10日(2007.10.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 クリーニング操作により、記録液を循環させることで付着物を記録液に再分散させることができ可能な記録装置に用いる記録液であり、少なくとも、水、水溶性有機溶剤、及び、水溶性高分子樹脂により顔料に分散性を付与して得られる着色剤を含有するインクジェット用記録液において、該記録液を40の条件下に放置し、その30重量%を蒸発させた濃縮された状態の記録液中の着色剤の平均粒子径の増加率が25%以下に抑制されるように構成されていることを特徴とするインクジェット用記録液。

【請求項2】 前記水溶性高分子樹脂の酸価が100~300である請求項1に記載のインクジェット用記録液。

【請求項3】 前記着色剤の平均粒子径が200nm以下である請求項1から請求項2のいずれか1項に記載のインクジェット用記録液。

【請求項4】 少なくとも、1分子中に3つ以上の水酸基を有する水溶性有機溶剤を5重量%以上含む請求項1から請求項3のいずれか1項に記載のインクジェット用記録液。

【請求項5】 請求項1から請求項4のいずれか1項に記載の記録液を記録信号に応じてオリフィスから吐出させて被記録媒体に記録を行う工程を有することを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項6】 記録液に熱エネルギーを作用させて記録液を吐出する方式の請求項5に記載のインクジェット記録方法。

【請求項7】 記録液を吐出させるための記録ヘッド、記録液を収容するためのインクタンク、及び、インクタンクから記録ヘッドに記録液を供給するための供給部からなるインクジェット記録装置において、上記記録液が請求項1から請求項4のいずれか1項に記載の記録液であることを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項8】 記録ヘッドが、フルマルチ型記録ヘッドである請求項7に記載のインクジェット記録装置。

【請求項9】 記録ヘッドとインクタンクとの間に負圧を調整するためのインク収納部が設けられている請求項7から請求項8のいずれか1項に記載のインクジェット記録装

置。